

すくすく

～赤ちゃんは、いつどのようにことばをおぼえる??～

赤ちゃんは、ある日突然お話ができるようになるわけではありません。

お話ができるようになるには、準備が大切なのです。

子育てサポート情報通信「すくすく」は、「ことばの成長」と「テレビやDVDなどからの影響」についてお伝えします。



脳に刺激を！！



脳は、ことばをつかさどる大事な器官です。

人の脳は、まず、体が刺激を受け、気持ちよく感じると、ことばをつかさどる脳へ信号が送られていきます。

ことばを話すために必要な要素

～赤ちゃんの毎日の生活の中で身につけられていきます～



<p>①口の変化 生まれたばかりの赤ちゃんの舌は、口のサイズに比べると大きく、口の中いっぱい舌があるような状態なので、舌を自在に動かせません。生後3か月を過ぎると、のどの空間が広がり、口での呼吸がやっとできるようになります。</p>	<p>④指先が器用になる 生後9～10か月頃になると、手や指がよく動くようになり、ものをつかめるようになります。これは、脳の中で手や指に「動け」と指令を出す場所が発達している証拠です。指が上手に動くようになると、指さしを始めます。自分のしたいこと、伝えたいことを「指さし」で知らせ、「伝えよう」という気持ちが強くなります。</p>
<p>②声を聞き分ける 生後3～4か月を過ぎると、声や音の聞き取りが上手になり、ママの声を聞いて安心するようになります。まわりの音を注意深く聞き分けられる力は、言葉を覚える上で大事な能力です。</p>	<p>⑤やりとり遊び ママが赤ちゃんにボールを転がすと、今度はママに向かってボールを転がし返してくれます。このようなやりとり遊びは、会話に似ています。楽しく遊びながら、「相手」と「自分」というコミュニケーションの形を学んでいきます。</p>
<p>③気持ちの共有 生後3か月を過ぎると、自分にとって大事な人、大好きな人がわかると同時に、まわりの世界に対する興味が広がります。自分の「大好きな人」が興味を向けるものと同じものを見ようとすることで、赤ちゃんは好きな人と心を通わせようとします。興味は、ことばを育む大切な要素です。</p>	<p>⑥表情や身振り手振り 1歳前後になると、表情や身振り、手振りを使って気持ちを伝える力がどんどんついてきます。まだ、うまくことばで説明できないのでもどかしさ、だだをこねることもあります。このもどかしさが話す際の大きなきっかけになります。</p>

テレビ・DVD などからの影響

大人が家事や用事などで忙しく、ちょっと手を離せないときに、テレビや DVD などを見せておくとじっと画面に集中してくれるので安心……。

しかし……

①脳を刺激しすぎて疲れさせる

テレビや DVD などは、赤ちゃんにとっては処理しきれない過剰な刺激です。音だけではなく、チラチラする光も赤ちゃんの脳を刺激し、疲れさせます。

②寝付くまで時間がかかる

眠る直前にテレビや DVD などを見せると、音や光によってしばらく興奮状態が続き、寝つくまで時間がかかります。

③ことばの遅れに影響することも……

常に「音」や「音楽」が流れていると、ものを意図的に聞く、集中する力が働かなくなるおそれがあります。視聴時間が長すぎると、人との触れ合い不足を招くおそれがあります。



【家庭でできる工夫点】

★テレビや DVD などを長時間見せないようにしましょう！！

- つけっぱなしにせず、見終わったら消す習慣を付けましょう。
- DVD などの反復視聴をやめましょう。
- 30 分見せたら、30 分休むように心がけましょう。
- 空いている時間に本を読んだり、外で遊ぶようにしましょう。

★テレビや DVD などは、一人では見せないようにしましょう！！

- 見せるときは、ママやまわりの大人も赤ちゃんに寄り添って画面を見ながら、話しかけたり、一緒に歌ったりして感動や知識を共有しましょう。

★授乳中や食事中はテレビや DVD などを見ないようにしましょう！！

- 食事は、家族が楽しく会話ができる貴重な時間なので、家族で大切な時間を過ごし、話を楽しむようにしましょう。



函館市では、お子様の発達、育児、栄養、むし歯予防などについて、保健師、管理栄養士、歯科衛生士などが相談に応じています。どうぞお気軽にご相談ください。

健康・発達・育児のこと	子ども未来部 母子保健課	電話 32-1533
食事・離乳食のこと	保健福祉部 健康増進課	電話 32-1515
むし歯予防のこと	函館口腔保健センター	電話 56-8148